

# 家畜による事故の防止の取組

○ ヘルメット・安全靴・手袋の着用や、作業手順の遵守（正しい保定方法の普及）等によって安全性を向上している事例がある。

## ヘルメット・安全靴・手袋の着用による安全対策

取組前	取組後
<p><b>リスクのある条件</b></p> <p>家畜を取り扱う場合、家畜の突発的な行動など避けられない危険性がある。</p> 	<p><b>リスクを低減した条件</b></p> <p>ヘルメット・安全靴・手袋といった個人用保護具を利用することで重大事故を防止。</p> 


## 作業手順の遵守による安全対策

取組前	取組後
<p><b>リスクのある条件</b></p> <p>採食中に掃除を行うという手順を守らない場合、家畜の関心をひき、突かれるといった危険性がある。</p> 	<p><b>リスクを低減した条件</b></p> <p>適切な作業手順を遵守することで安全性を向上。</p> 

## 対象家畜の適切な隔離や正しい保定の普及による安全対策

取組前	取組後
<p><b>リスクのある条件</b></p> <p>家畜を複数つないだ間に立ち、作業を行う場合、挟まれたり、作業していない家畜から蹴られる危険性がある。</p> 	<p><b>リスクを低減した条件</b></p> <p>家畜の密度を下げたり、作業する家畜を隔離し、個別の枠場で保定した上で、作業を行うことで安全性が向上。</p> 

## 家畜を驚かせない動作など家畜の取扱による安全対策

取組前	取組後
<p><b>リスクのある条件</b></p> <p>家畜は目前や死角(真後ろ)に立った場合、怯えから攻撃的になる場合がある。</p> 	<p><b>リスクを低減した条件</b></p> <p>行動パターンを理解した上で家畜に接することで安全性を向上。</p> 